

家庭基礎

単位数	2 単位	対象学年	1 学年	対象コース・クラス	全クラス
使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)	副教材等			

1. 学習の到達目標

1. 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
2. 学習した知識や技術を活用し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。
3. 家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ・小・中学校で学習した知識や技術を確実に習得させるため、基礎的・基本的な内容を発展させ自分のものとして捉えさせる。
- ・人の一生にとっての家族・家庭、福祉、衣食住、消費生活について、具体例を交えながら、日常生活に関連づけ理解を深める。
- ・周囲の人間関係や環境などに目を向け、より良く生きるための基本的な考え方、知識や技術を身につける。
- ・高校生活や卒業後の節目に起こりうる課題を知り、充実した生活を送るための課題の解決方法について考える。
- ・実習を通じ、最後まで粘り強く行い、達成感を得ることであきらめず取り組む姿勢を育てる。

3. 学習上のメッセージ

家庭科は、日常生活そのものが学びの対象となります。当たり前とと思っている生活の中でも新たな発見が多くあるはずです。

その小さな芽を見つけることができるよう、家族、保育、高齢者、消費生活、環境、衣食住とに関して家庭のみならず、社会生活全般にも目をむけ様々なことに興味を持ち学んでください。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の3つの観点から行う。

知識・技能	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

評価は、具体的に次のものを対象とする。

- ①年5回の定期試験（実技試験含む） ②授業中に配付されたプリントやノートの記入と提出
- ③作品、課題の製作と期限内提出 ④授業への関心・意欲・態度
- ⑤授業の出席状況 1年間の評定は、年間を通じて総合的に判断して決定する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
第1章 生涯を見通す	1 人生を展望する 2 目標を持って生きる	○自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ○生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。
第2章 人生をつくる	1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会	○生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 ○よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ○社会制度としての家族や家族と法律を理解する。 ○仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解し、どのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。
1 学期中間試験		
第3章 子どもと共に育つ	1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 子どもと関わる 5 これからの保育環境	○性と生殖に関する健康について理解する。 ○子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 ○子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ○現代の子育て環境の変化や課題について理解する ○子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。
第4章 超高齢社会を生きる	1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの超高齢社会	○超高齢社会の背景を理解する。 ○高齢期が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か考える。 ○加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ○高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。 ○高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。
第5章 共に生き共に支える	1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる	○一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を知る。 ○社会保障制度の理念と内容を理解する。 ○多様な人々のニーズ、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインの理念を理解する。
1 学期期末試験		
第7章 衣生活をつくる	1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する 布を用いた生活の知恵	○社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ○健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。 ○被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 ○手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。 ○被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。 ○布を使った生活の工夫を知る。(被服実習)
第9章 経済生活を営む	1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法	○現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 ○毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。 ○販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。
2 学期中間試験		
第9章 経済生活を営む	3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す	○消費者には権利と責任があることを理解する。 ○消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解する。 ○経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。
第6章 食生活をつくる	1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食生活の安全と衛生 4 生涯の健康を見通した食事計画	○食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ○栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。 ○食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。 ○各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。
2 学期期末試験		
第6章 食生活をつくる	5 調理の基礎	○調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。(調理実習) ○配膳やマナーに関心を持つ。
第8章 住生活をつくる	1 住生活の変遷と住居の機能 2 安全で快適な住生活の計画 3 住生活の文化と知恵	○私たちの毎日の生活を支える生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 ○防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。 ○気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。
学年末試験		

授業計画及び試験計画 1学年 全クラス

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
学習の手引き シラバス説明												
1章 1 人生を展望する		↑										
2章 2 目標を持って生きる		↑										
2章 1 人生をつくる		↓										
2章 2 家族・家庭を見つめる		↓										
2章 3 これからの家庭生活と社会		↓										
1学期中間試験												
3章 1 命を育む				↑								
3章 2 子どもの育つ力を知る				↑								
3章 3 子どもと関わる				↑								
3章 4 これからの保育環境				↑								
4章 1 超高齢・大衆長寿社会の到来												
4章 2 高齢者の心身の特徴												
4章 3 これからの超高齢社会												
5章 1 私たちの生活と福祉												
5章 2 社会保障の考え方												
5章 3 共に生きる												
1学期期末試験												
7章 1 被服の役割を考える							↑					
7章 2 被服を入手する							↑					
7章 3 被服を管理する							↑					
7章 布を用いた生活の知恵							↑					
9章 1 情報の収集・比較と意思決定								↑				
9章 2 購入・支払いのルールと方法								↑				
9章 3 消費者の権利と責任								↑				
9章 4 生涯の経済生活を見通す								↑				
2学期中間試験												
6章 1 食生活の課題について考える										↑		
6章 2 食事と栄養・食品										↑		
6章 3 食生活の安全と衛生										↑		
6章 4 生涯の健康を見通した食事計画										↑		
2学期期末試験												
6章 5 調理の基礎											↑	
8章 1 住生活の変遷と住居の機能											↑	
8章 2 安全で快適な住生活の計画											↑	
8章 3 住生活の文化と知恵											↑	
学年末試験												
 授業計画 試験範囲												
行事等												
		中 間 試 験		期 末 試 験			中 間 試 験		期 末 試 験			学 年 末 試 験